

(一社) 佐賀青年会議所 2 月度 総務・広報委員会議事録

提出日：2022 年 2 月 13 日

理事長 島内 陽輔 殿

総務・広報委員会

委員長：古賀 修平

議事録作成人：吉田 匡佑

会議の名称：2022 年度 2 月委員会

会議開催日時：2022 年 2 月 8 日 19:30～21:30

会議開催場所：Web (Zoom)

出席委員：古賀委員長、高橋副委員長、久米副委員長、吉田運営幹事、片岡委員

出席者数(11 名中 5 名、出席率 45%)

オブザーバー：渡邊専務、森室長、仮会員 2 名(宮崎、稲葉)

委員会議事内容

司会 久米 雄大 君

1. 開会

2. JCI クリード唱和

高橋 直弘 君

3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和

片岡清治郎 君

4. JC 宣言文朗読並びに

綱領、佐賀青年会議所 70 周年に向けての活動指針唱和

吉田 匡佑 君

5. 議事録作成人の指名議事録作成人

吉田 匡佑 君

6. 専務理事挨拶

専務理事 渡邊 雅夫 君

こんばんは、まずは 2 月の委員会・Web 会議となりますが委員会開催ありがとうございます。そしてオブザーブとして、宮崎君・稲葉君仮会員としてオブザーブの参加ありがとうございます。青年会議所である以上会議を学ぶ場だと思います。

それが、30 分になっても始まらない、始まらないのであれば遅れる理由を述べるべき、予定通りの時間に参加してる方に迷惑がかからないよう進めるべき、そういったイロハの良い繋がりを、基本的な事に関しては、しっかり守って頂きたい。そこが Web 上での開催であろうとしつかり会をする以上重要な事になりますので間違いの無いように進めて頂ければと思います。

また、青年会議所の活動なんですが、このオミクロン株のパンデミックという事で、リアルでの開催も運営を司る専務理事としては、リアルでの開催を控えるという方向性で会の運営を進めさせて頂いております。これが、蔓延防止が出ている 2 月 20 日迄という予定ではありますが、それ以降も伸びるという可能性がありますので都度都度、正副、で話し合いながら答えを出してい

こうと思っております。

なので、17日迄予定されてる常任理事会迄はWebでの開催、蔓延防止が伸びるのであれば何かの会があれば都度正副で集まって会によって決めていきたいと思います。

こんな中で、Webでの開催のモデルケースを作って今後こう言った事が起きても対応出来るようにと、そういう意味では重要な事かと思しますのでWeb開催も多少のルールは作りますが、しっかりと行って行きたいので皆さんご協力の程よろしくをお願いします。

この水面下の中ではありますが古賀委員長におかれましては、ホームページの再検討、管理をされてるWeb上では無く古賀委員長がしっかり考えてる経費のかからないホームページの構築だったりSNSの発信であったりまた、LOM内でかかっている予算の見直しだとかそういった事を古賀委員長一生懸命されてます。ですので、リアルで開催出来ない中で、顔合せ・お酒を酌み交わす事も出来ませんが、古賀委員長の頑張りというのをしっかりご理解頂いて皆さんご協力の方をして頂ければと思いますのでこちらも併せ持ってお願いしたいと思います。

そしてこのコロナ禍の中ではありますが青年会議所としてこんな時だからこそ、何か出来る事はないかと言う事を考えて議案トーク、有志のメンバーで集まって他の他団体でもやっている事ではありますが、皆さんから有志をつのって西九州大学の学生達例外も無くバイトが出来なく食べ物とかも困ったりお給料が貰えなく苦勞されてる方もおり皆さんから頂いた有志のお金を持って、物資支援という形を理事長としようという事で検討しておりまして、全体ラインにも流させて頂いた通り、1Fの方に募金箱置いておりますので宜しくお願いします。

また、事業であります但し先日直会はしなかったんですが高橋さんが対象者で厄入り・厄晴の事業を佐賀神社でさせて頂きました。去年卒業された先輩とも顔を合わせる事も出来て久々に色々な話が出来たんじゃないかなろうかと思います。が、やっぱり直会が無いという事で、その場で解散という寂しさも感じながら・・・

皆さんもその厄入り・厄晴と神事ごとを私の若干のチョンボもありながら進めさせて頂いたと思います。今後もどうなっていくか分かりませんが、皆さんの気持ちが切れる事なく会の運営に皆さんがご協力頂ければと思います。どうぞ宜しくお願いします。

7. 室長挨拶

室長 森 公照 君

お疲れ様です。今回オブザーブの方が2名・他6名参加しており全部で14名中の6名という事で中々うちの委員会が来れると言う人が少ないという、もう少し来て頂ければ古賀委員長が来て頂くだけで喜ぶと思うんですが、またSNSの運営が楽になる様にとかスムーズになる様にとかで、オブザーブの方も毎回参加して頂ければと、仮会員から2ヶ月で正会員になると思いますけどもそこでまた総務・広報委員会に所属して頂ければと思っております。また今回青年会議所、基本的に会のメンバーの成長も図る所でもありますし地域に奉仕するという基本的な精神で取組んで行きます。今から議事録の内容やっていくんですが今回アジェンダという所の中で主に話し合うのが4月例会の開催計画という所だと思いますのでオブザーブの方からもご意見を頂ければと、観戦人数が少ないので宜しくお願いします。

8. 委員長挨拶

委員長 古賀 修平 君

皆さんお忙しい所ありがとうございます。また本日は2名のオブザーブ参加という事で宮崎さん、稲葉さんにご参加頂きました事重ねて御礼申し上げます。ありがとうございます。

お二人に関しては私が直接お話しする機会がありまして、今日総務・広報委員会のオブザーブ傍聴という事でご参加頂けた事が非常に嬉しく思っております。

先程森室長からありました総務・広報委員会の主な内容としましては、本日いらっしゃらない方も含めてお話ししたいんですが総務にしても広報にしてもフロント、前に出て何か事業をすると言う事も可能かも知れませんが、どちらかというミドル・バックと言う様な組織のより効率的な有効性の高い展開をいかに後押しするかという職責が特徴になってくるのかと思います。

その特性も踏まえて、どうしても仕事か作業かと言う意味で言うと決まったルーティンをこなす作業という側面が強いという部分は否めないのかと思っています。一方で議事録の作成ですとか議事の運営という部分が無ければ会の活動の質と言うのが非常に下がっていくと言う所に矜持を持って作業ではありますけどもいかに付加価値を付けて仕事化するかそれは、議事録の文章を要約するとか点も含めて小さい事ではありますけども付加価値を付けるという事がご自身の本業にも大きく寄与する物だと思っているのでその辺をご認識頂いた上で先月の挨拶での通り、出欠レスポンスかと言う風に考えております。その上でより仕事、付加価値と言う意味で言うと会の運営をスムーズにする為の様々な書面のブラッシュアップであったり連絡のやり取りを考えるという部分、広報に関しては青年会議所が何であるか、そして何に取組んでいて、何に取り組みたいかとより有効に広報、ブリクリレーションズに繋げていくと言う事は、皆さんの考え次第で幾らでも付加価値は付けられる物だと青年会議所の2022年度理事長の元青年会議所の活動の有効性を高めて頂けたらと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

9. 【審議事項】

審－1

2022年度 新入会員の仮会員承認の件

総務・広報委員会

審－2

2022年度 古賀 醇治 君 退会承認の件

総務・広報委員会

審－3

2022年度 3月例会開催計画（案）について

国際・交流委員会

審－4

その他

10.【協議事項】

協－1 2022年度 4月例会開催計画（案）について

意見1	高橋君	講演を聞いた上で、その学びを具体的に今後の青年会議所活動にどのように繋げていくのかももう少し詳細に知りたい、記載してほしい。
意見2	久米君	講師の話ありきではなく、青年会議所として一年を通して何が課題であるかを明確にして議案に記載した上で、当日の講演や理事長とのセッションの内容についても詳細に記載をしてほしい。
意見3	吉田君	空き家問題の現状を聞くだけではなく、問題について理解を深め、青年会議所として具体的にどのようにコミットしていくかまで討論できるような内容にしてほしい。

協－2 その他

11.【討議事項】

討－1 その他

12.【報告事項】

報－1

2022年度 2月例会開催について
会員拡大・研修委員会

報－2

2022年度 佐賀青年会議所シニア・クラブ総会及び懇親会について
国際・交流委員会

報－3

2022年度 厄入厄晴祈願について
会員拡大・研修委員会

報－4

2022年度 仮会員研修について
会員拡大・研修委員会

報－５

２０２２年度 新入会員募集について

会員拡大・研修委員会

報－６

２０２２年度 SNS アカウント等運用状況について

総務・広報委員会

報－７

理事会オブザーブ参加推進及び LOM セクレタリー担当の輪番について

総務・広報委員会

報－８

アジェンダシステムの検討について

総務・広報委員会

報－９

その他

１３．委員会 討議

なし

１４．次回委員会開催日について

２０２２年３月８日（火） １９：３０～ 佐賀青年会議所会館２階

１５．閉会の辞